

東日本大震災に係る支援活動について

平成23年6月14日現在

1. 医療支援

- 災害派遣医療チーム（DMAT）の活動として、ドクターカー及びワゴン車とともに医師、看護師及び事務職員を派遣（3月11日～14日、3月16日～19日、3月20日～23日）
- 医薬品を被災地へ提供
- 死体検案のため、福島県相馬市・南相馬市及び宮城県石巻市等へ医師を派遣（3月16日～22日、3月29日～4月5日、4月20日～27日）
- 下肢深部静脈血栓症の治療・予防のため、福島県内避難所へ医師を派遣（3月14日～15日、3月17～18日）
- 高齢者医療支援に関する情報収集・診療のため、福島県福島市及び相馬市へ医師及び薬剤師を派遣（3月26日～27日）
- 緊急被ばく医療に対する災害医療アドバイザーとして、原子力災害現地対策本部へ医師を派遣（4月11日～13日）
- 日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト現地派遣支援として、宮城県涌谷町、石巻市へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣（4月14日～17日）
- 東北大学心のケアチームとして、医師及び精神保健福祉士を宮城県石巻市へ派遣（4月27日～30日）
- 福島県立医科大学心のケアチームとして、医師を福島県相馬市へ派遣（4月30日～5月3日）
- 国立大学医学部附属病院長会議による医療支援の一環で、関東ブロックチームの一員として、東京大学、千葉大とともに、チーム（内科系医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務職員1名）を編成のうえ派遣し、志津川ベイサイドアリーナ（南三陸町）を拠点に継続的な医療活動（5月7日～11日、5月18日～21日、5月28日～6月1日、6月8日～11日、6月18日～22日、6月29日～31日）
- 厚生労働省医政局の要請により、災害派遣医療チーム(DMAT)を、いわき市立総合磐城共立病院を拠点に、J ビレッジ、広野町公民館、田村市古道体育館に派遣し、一時帰宅者に対する医療支援に従事した(5月25日～31日で常時医師4名、事務1名を配置した)
- 歯科治療及び口腔ケアのため、歯科医師及び歯科衛生士を宮城県へ派遣（5月29日～6月6日、6月19日～6月27日）
- 被災地から、重症患者を受入れ（3月18日に、福島県郡山市太田西ノ内病院、宮城県亶理郡国立病院機構宮城病院、福島県いわき市いわき共立病院から、また、福島県いわき市から都内に避難中の患者を、それぞれ受入れ。福島県いわき市内の透析患者を、3月18日及び19日から受入れ。）

2. 救援物資等

(1) 救援物資支援

- 簡易マスクや電池等の消耗品11点を東北大学に提供（3月18日及び19日）

(2) 義援金

- 学内で募金活動を行い、集まった12,161,633円を、日本赤十字社に寄附（5月11日）

3. その他

- 宮城県公立学校等の応急危険度判定のため、宮城県へ職員(被災文教施設応急危険度判定士)を派遣（4月18日～22日）

○放射線測定への協力のため、福島県へ教員（放射線取扱主任者）及び技術専門職員を派遣（6月4日～）